

『源氏物語』の 語法とその読解

現代語の感覚でつい読み過ぎてしまう古典語特有の表現、
通常の感覚では捉えにくい語順、同じ作品中で作者の言語感
覚の違いを見せる語法など、『源氏物語』を原文で読もうとす
る時、留意したい読解の視点を3点に絞って紹介する。

令和7年3月29日(土) 13:30~15:00

参加費
無料

会場

【対面参加】聖徳大学1号館3階1323教室

〒2711-0092 千葉県松戸市岩瀬550
JR常磐線・JR上野東京ライン・JR乗り入れ地下鉄千代田線
新京成線「松戸」駅下車 徒歩5分

講師

碁石 雅利

(聖徳大学文学部文学科教授)



【Web参加】「Zoom」ミーティングによる
オンライン配信

司会

北村 弘明

(聖徳大学言語文化研究所長)

定員

【対面参加】定員40名 【Web参加】定員80名
(先着順、参加費無料、要事前申込)

申込
方法

参加ご希望の方は申込フォームへの入力または問合せ先までお電話にてご連絡の上、事前申し込みをお願いいたします。申込フォームにてお申込みいただいた場合、ご登録いただいたメールアドレス宛に詳細なご案内メールをお送りします。フォーム送信後、ご案内メールが届かない場合は下記お問い合わせ先までご連絡ください。また、以下のドメインからメールを受信できるように設定をお願いいたします。

@form-mailer.jp

〈参加申込フォームURL〉

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/d3dead31785554>



主催

聖徳大学言語文化研究所

後援

松戸市教育委員会
松戸市国際交流協会

申込
期限

令和7年3月27日(木)

お問い合わせ

聖徳大学言語文化研究所
(知財戦略課)

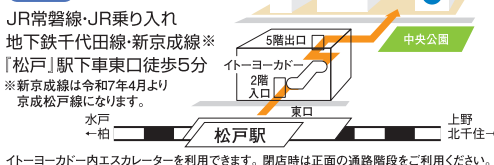
〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550

電話:047-365-1111 (大代表)

メール: chizai@wa.seitoku.ac.jp

アクセス

★公共交通機関をご利用いただき、
お車でのご来校はご遠慮ください。



ちばSDGs

ちばSDGsパートナー 833号
聖徳大学・聖徳大学短期大学部は
ちばSDGsパートナーに登録しています。